

十勝南モデル地域圏域検討会 農業関係ワーキングチーム

(2)これまでの取組経緯

十勝南地域の農業課題

短期的な労働力が足りない！

- ・農業従事者の減少
- ・年間の作業量が平準化しない
- ・人手が必要な作物の**収穫時期が重複**

収穫期の労働力不足

将来的に農業が縮小？

- ・農業従事者の**高齢化**
- ・後継者不足、新規就農のハードル大
- ・農業の働き方への不安 (就労環境・労働条件)

農業の担い手不足

スマート農業による効率化
・**ドローンやGPSガイダンスシステム搭載トラクターの活用**による省力化・作業時間短縮

自治体やJ Aによる取組



農業経営者の育成
・農家子弟や新規参入希望者を対象とした**通年型研修システムの実施**。

人材マッチングシステムを活用による農業短期就労の支援 (R1~)

- ・**スマホアプリのマッチングシステム「daywork」**を活用し、就労希望者と生産者をマッチングし、**1日単位で就労できる取組**を開始。
- ・順調に利用拡大が進み、好評を得ている。

推進体制の設立準備

- ・R1.6「とかちアグリワーク協議会設立準備会」が5JAで発足。

検討課題…

- ・酪農は通年雇用が基本だが、冬期間に農作業が少ない畑作では通年雇用は難しい…
- ・一時的な労働力確保に留まらず、**農業への長期的な定着に繋げたい！**

地域課題の共有

十勝南モデル地域圏域検討会 (H29.11.22~)

・喫緊の課題として、**農業の持続的発展**、地域交通の利便性向上を中心に議論。

地域の関係者による議論

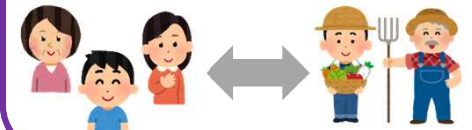
H30.5.8
十勝南モデル地域 全体WT

H30.8.7
十勝南モデル地域 農業関係WT

H30.10.9
十勝南モデル地域圏域検討会

地域のアイデア

農業での短期就業を希望する人と、繁忙期の労働力を希望する農家とを**ICTでマッチング**することで、労働力不足を補えるとともに、これまで農業で働いたことのない人に農業で働く機会や意欲を持ってもらえるのではないかと。



地域の関係者による議論

H31.2.4
十勝南モデル地域 農業関係WT

今後の展望

とかちアグリワークの活動を支援し、農業の労働力確保の取組を維持・発展

関係者による持続的な推進体制の構築

- ・R3.11 組織名を「とかちアグリワーク」として再始動。参加は20JAに拡大。

酪農など中長期就業者の確保対策も検討

どうやってマッチングするか？

誰が主体となるか？

まずは収穫期の短期労働力不足に関する対策から

